

神奈山藤・藤巻根山スキー報告 1

【山城】新潟県・神奈山

【日程と天気】2018年4月8日（日）晴れのち曇りのち小雪のち晴れ

【メンバー】CL菊池・井上（里）・加藤・T（船山・記）

【行程】

休暇村妙高駐車場 8:54ー藤巻尾根（藤巻山）945m 10:45ー神奈山直下 1,410m

12:50ー13:05 往路を滑走ー14:40 途中ふきのとう採取しながら駐車場ー高田公園の桜を花見後道の駅あらいー帰葉



- ・リーダーの当初の予定は神楽峰か白馬乗鞍計画だったが、天気予報を見るとどちらも弱い冬型の低気圧の影響でよろしくなく、2日前の6日に北信地方・小谷村などは、朝のうちは弱い雪模様ですが、午前中から晴れベースとなる予報で、第一選択に藤巻尾根、第二選択に鍋倉山として決行しますと連絡を貰いました。
- ・当日になって北信方面に車を走らせれば、晴れの空模様に期待が膨らみます。ギリギリまで、どちらにしようか悩む所で、加藤さんの「藤巻尾根！」の一声で行先が決定しました。
- ・妙高山の見事な山容が目の前に現れ、一斉に「お～」と声が上がります。

休暇村妙高に到着すると、強い日差しに今日も晴天だとテンションが上がり、9:00 少し前にスタート。昨日降った雪が 5cm 程粉砂糖のように積り、山全体がとても美しく雪化粧されています。



我々不慣れな高齢者に適したルートをリーダーが探しながら、まずは急な傾斜をスキー板にクトーを装着し登ります。クトーがあれば、体力の消耗を最小限に抑えて高度を稼ぐ事が出来ます。なんて便利な道具なんでしょう！2 時間程美しいブナの林を登ると台地に出ました。雪解けが進み、ブナの根開けはまるで蟻地獄のように深々・・・どうか落ちませんようにとそっと心で呟きます。



後から愛知県から来たというやや若い3人組が上がって来ました。本日は私たち含めて7人しか入山していない様子です。台地から神奈山山頂を目指し、急な砂漠のような何もない斜面を登ります。ここで予報の強風が急に吹き出し、晴れた空がいきなり曇り始めて雪も舞い始めました。



13:00 少し前 1,410 メートルから滑降開始です。さらさらの粉砂糖のような斜面にリーダーの「ハッホオオ～」の声とともに、それぞれ思い思いのシュプールを描きます。



山スキーって楽しい～！急な斜面はトラバースし、リーダーに導かれつつ、ブナのエを快適に滑り降りて行きました。恐れていたブナの根開けに突っ込む事もなく、最後の急



な藪の下りは横滑りをミックスしながら、無事に林道に着地出来ました。駐車場までは、春の楽しみ、ふきのとうを採りながら。休暇村のお風呂で汗を流した後は、リーダーおススメの桜で有名な高田公園に寄り、みごとな桜と黒姫山、妙高山、火打山の贅沢な景色を満喫し、途中の道の駅あらいて海産物市場で美味しい寿司を売り切れ



寸前でゲットし、山も桜もお腹も超満足の1日を楽しみました。

還暦を間近に控え、大昔にゲレンデスキー中毒だったというだけで、山スキーを始めた私に、他会の壁を隔てることなく、毎回素敵な山行を計画して、時には厳しく教えて下さるリーダーに心から感謝しております。これからも、一回でも多く山スキーに行けるよう、日々体力維持に頑張りたいと思います。

井上里美さんの感想文

藤巻尾根は二年前に行っていますが、新雪がかなり積っていて極初心者の私は同行者に大変ご迷惑をおかけした、強烈な思い出のある尾根です。

今回は特別な気持ちの中でしたが、春山であり前回より経験もあり不安はありませんでしたが、登るにつれ美しいブナ林の根元に空く春特有の大穴に恐怖心一杯になってしまいました。下る時は見えにくいのですし接近しているとかなり狭い所を通ることになるからです。しかし実際滑ってみると最高のザラメ雪でターンはしやすく恐怖心は消えました。今までで最高の楽しい林間の滑りの最後の難関、取りつきの急斜面もリーダーに「ゆつくり来れば、大丈夫だから。」と何度も何度も大きな声で言ってもらえと不思議と私でも通過できてしまうのです。

めげてばかりの私でもこんな楽しい滑りを経験してしまうと「歳に負けずに頑張ろう。」と強く思います。

こういう経験が出来るのもリーダーや同行者がいてこそ、本当にありがとうございました。

